

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	神奈川工科大学
設置者名	学校法人幾徳学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページ (決算概要) <a href="https://www.kait.jp/about/biz_report/">https://www.kait.jp/about/biz_report/</a>
収支計算書又は損益計算書	ホームページ (計算書類) <a href="https://www.kait.jp/about/biz_report/">https://www.kait.jp/about/biz_report/</a>
財産目録	ホームページ (財産目録) <a href="https://www.kait.jp/about/biz_report/">https://www.kait.jp/about/biz_report/</a>
事業報告書	ホームページ (事業報告書) <a href="https://www.kait.jp/about/biz_report/">https://www.kait.jp/about/biz_report/</a>
監事による監査報告 (書)	ホームページ (監事の監査報告書) <a href="https://www.kait.jp/about/biz_report/">https://www.kait.jp/about/biz_report/</a>

2. 事業計画 (任意記載事項)

単年度計画 (名称: 2019年度事業計画書	対象年度: 2019年度)
公表方法: ホームページ (事業計画書)	<a href="https://www.kait.jp/about/biz_report/">https://www.kait.jp/about/biz_report/</a>
中長期計画 (名称: 策定中	対象年度: )
公表方法: 今年度中にホームページに掲載予定	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: ホームページ (大学基準に適合) <a href="https://www.kait.jp/topics/accreditation/juaa.html">https://www.kait.jp/topics/accreditation/juaa.html</a>
---

(2) 認証評価の結果 (任意記載事項)

公表方法: ホームページ (大学基準に適合) <a href="https://www.kait.jp/topics/accreditation/juaa.html">https://www.kait.jp/topics/accreditation/juaa.html</a>
---

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名
教育研究上の目的 (公表方法：ホームページ <a href="https://www.kait.jp/about/aim/">https://www.kait.jp/about/aim/</a> ) (概要) 「考え・行動する人材の育成～社会で活躍できる人づくり～」を目的として、「ディプロマポリシー」と「カリキュラムポリシー」と「アドミッションポリシー」を一体的に策定し展開している。
卒業の認定に関する方針 (公表方法：ホームページ <a href="https://www.kait.jp/about/aim/">https://www.kait.jp/about/aim/</a> ) (概要) ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）として以下の内容を定めている。 1. 創造的思考力 専門技術を持った職業人として、知識、技能、情報を活用することで専門分野の課題解決にむけて主体的に行動することができる。また、新たな問題を発見して、新しい価値を生み出すことができる。 (1)創造力 新たな問題を発見して、解決することができる。また、新しい価値を生み出すことができる。 (2)課題解決力 専門分野の課題について現状を分析し、解決方法を明らかにして、その課題を解決することができる。 (3)行動力 自らやるべきことを見つけて目的を設定し、計画をたて、積極的かつ確実に行動することができる。 2. チームワーク 多様な人々とともに、目標に向けて協力しながら課題解決や創造的な仕事を行うことができる。そのための自分の考えを伝える力、相手の意見を聞く力、意見や立場の違いを理解する力をもっている。 (1)コミュニケーション力 自分の知識や意見をわかりやすく伝えることができる。また、内容の確認や質問をとおして、相手の意見を理解することができる。 (2)社会的責任と倫理観 周囲から期待されている自分の役割を把握し、行動することができる。また、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解している。さらに、専門分野の職業倫理を理解している。 3. 基礎学力 職業人の素養としての基礎知識を持ち、専門分野における基本的な知識・技能を体系的に理解している。 (1)専門分野の基礎的な知識・技能 専攻する専門分野における基本的な知識・技能を体系的に理解している。 (2)職業人の素養としての基礎知識 自然、社会、多様な文化に関する基礎知識を理解している。

<p>教育課程の編成及び実施に関する方針  (公表方法：ホームページ <a href="https://www.kait.jp/about/aim/">https://www.kait.jp/about/aim/</a> )</p>
<p>(概要)  カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）として以下の内容を定めている。  (1)基礎力育成を重視した教育  職業人としての基礎力、専門のための基礎学力の向上を重視した教育を行う。  (2)共通基盤教育と専門教育  全学的な共通基盤教育では、大学での学びへの興味関心を高め、グローバル化する社会に対応した職業人としての素養を身につける教育を行う。それを基盤として、学科の専門教育では、専門分野の知識・技能を理解して活用する力を身につける教育を行う。  (3)学力にあった教育  学力向上のために多様な演習・課題課して、一人一人の学力にあった教育を行う。  (4)創造性を育む能動・体験型教育  主体的に問題解決に取り組む態度と創造性を育むために能動・体験型教育を行う、また総合的な学習経験と創造的な思考力を向上させるユニット型教育を行う。  (5)得意分野を伸ばす個人指導  セミナー、卒業研究など個人指導によって、一人一人の得意な分野を伸ばす教育を行う。</p>
<p>入学者の受入れに関する方針  (公表方法：ホームページ <a href="https://www.kait.jp/about/aim/">https://www.kait.jp/about/aim/</a> )</p>
<p>(概要)  アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）として以下の内容を定めている。  本学は、教育目的に定める人材を育成するために、高等学校等までの学習や課外活動等を通じ、入学後の各学科の学びに必要な基礎学力、自ら考えて判断して表現する力、主体性を持って多様な人々と協働して課題を解決する力を持ち、大学における学修を通じて職業人として社会に貢献しようとする意欲を持った人を求める。  そのため、入学者の選抜にあたっては、これらの要素を持つ受験生の個性や多様性に鑑み、多彩な選抜方法により選抜を行う。</p>

②教育研究上の基本組織に関すること

<p>公表方法：  ホームページ組織図 ( <a href="https://www.kait.jp/about/pdf/sosikizu.pdf">https://www.kait.jp/about/pdf/sosikizu.pdf</a> )</p>
---

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	3人	—					人
工学部	—	26人	15人	0人	4人	4人	49人
創造工学部	—	17人	9人	0人	4人	0人	30人
情報学部	—	32人	15人	4人	4人	1人	56人
応用バイオ科学部	—	17人	7人	0人	4人	4人	32人
看護学部	—	9人	4人	4人	4人	8人	29人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0人		344人					344人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法：ホームページ 学位 <a href="http://joho.kait.jp/kyogakui.pdf">http://joho.kait.jp/kyogakui.pdf</a> 業績 <a href="http://joho.kait.jp/kyogyoseki.pdf">http://joho.kait.jp/kyogyoseki.pdf</a>					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
工学部	298人	340人	114%	1184人	1271人	107%	若干名	0人
創造工学部	145人	168人	116%	565人	631人	112%	若干名	0人
応用バイオ科学部	205人	188人	92%	815人	805人	99%	若干名	0人
情報学部	420人	466人	111%	1645人	1755人	107%	若干名	0人
看護学部	80人	82人	103%	320人	343人	107%	若干名	0人
合計	1148人	1244人	108%	4529人	4805人	106%	若干名	0人
(備考) 現4年生の定員合計は1085人であるため収容定員の考え方として1148×3+1085とした。								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
工学部	277人 (100%)	25人 ( 9.0%)	237人 ( 85.6%)	15人 ( 5.4%)
情報学部	399人 (100%)	29人 ( 7.3%)	342人 ( 85.7%)	28人 ( 7.0%)
創造工学部	137人 (100%)	20人 ( 14.6%)	112人 ( 81.8%)	5人 ( 3.6%)
応用バイオ科学部	191人 (100%)	10人 ( 5.2%)	175人 ( 91.7%)	6人 ( 3.1%)
看護学部	66人 (100%)	1人 ( 1.5%)	65人 ( 98.5%)	0人 ( 0%)
合計	1070人 (100%)	85人 ( 7.9%)	931人 ( 87.1%)	54人 ( 5.0%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
ホームページ <a href="http://kw.kait.jp/career/result/index.html">http://kw.kait.jp/career/result/index.html</a>				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業生数	留年者数	中途退学者数	その他
工学部	340人 (100%)	253人 ( 74.4%)	39人 ( 11.5%)	43人 ( 12.6%)	5人 ( 1.5%)
情報学部	490人 (100%)	353人 ( 72.0%)	58人 ( 11.8%)	69人 ( 14.1%)	10人 ( 2.0%)
創造工学部	153人 (100%)	118人 ( 77.1%)	19人 ( 12.4%)	15人 ( 9.8%)	1人 ( 0.7%)
応用バイオ科学部	218人 (100%)	183人 ( 83.9%)	11人 ( 5.0%)	22人 ( 10.1%)	2人 ( 0.9%)
看護学部	81人 (100%)	66人 ( 81.5%)	10人 ( 12.3%)	4人 ( 4.9%)	1人 ( 1.2%)
合計	1282人 (100%)	973人 ( 75.9%)	137人 ( 10.7%)	153人 ( 11.9%)	19人 ( 1.5%)
(備考) 平成27年4月入学～平成31年3月卒業を対象に調査					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)
<p>授業科目、授業の方法及び学年暦・時間割については、毎年作成する冊子「履修&amp;授業 Guide Book」および冊子「履修要綱」にて履修・授業などに関する基本事項として授業科目や授業形態を示し、インターネット上で展開する「シラバス」にて確認できるようにしている。</p> <p>加えて、年間の授業などの計画については、学年暦および各学科で時間割を策定し、印刷の上、学生に配布するとともに年度当初に行うガイダンスにおいても履修及び修学に関する指導を行っている。</p>

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)				
<p>授業科目、授業の方法及び学年暦・時間割については、毎年作成する冊子「履修&amp;授業 Guide Book」および冊子「履修要綱」にて履修・授業などに関する基本事項として授業科目や授業形態を示し、インターネット上で展開する「シラバス」にて確認できるようにしている。</p> <p>加えて、年間の授業などの計画については、学年暦および各学科で時間割を策定し、印刷の上、学生に配布するとともに年度当初に行うガイダンスにおいても履修及び修学に関する指導を行っている。</p>				
学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	G P A制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
工学部	機械工学科	124 単位	有・無	48 単位
	電気電子情報工学科	124 単位	有・無	48 単位
	応用化学科	124 単位	有・無	48 単位
	臨床工学科	136 単位	有・無	48 単位
情報学部	情報工学科	124 単位	有・無	48 単位
	情報ネットワーク・コミュニケーション学科	124 単位	有・無	48 単位
	情報メディア学科	124 単位	有・無	48 単位
創造工学部	自動車システム開発工学科	124 単位	有・無	48 単位
	ロボット・メカトロニクス学科	124 単位	有・無	48 単位
	ホームエレクトロニクス開発学科	124 単位	有・無	48 単位
応用バイオ科学部	応用バイオ科学科	124 単位	有・無	48 単位
	栄養生命科学科	124 単位	有・無	48 単位
看護学部	看護学科	124 単位	有・無	42 単位
G P Aの活用状況 (任意記載事項)		公表方法：ホームページにて公表 近日掲載予定		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：ホームページにて公表 近日掲載予定		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：ホームページ (施設紹介) <a href="https://www.kait.jp/about/facility/">https://www.kait.jp/about/facility/</a>
---

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
工学部	機械工学科	1,370,000円	200,000円	14,000円	その他(フレッシューズキャンプ 14,000円)
	電気電子情報工学科	1,370,000円	200,000円	－円	
	応用化学科	1,370,000円	200,000円	14,000円	その他(フレッシューズキャンプ 14,000円)
	臨床工学科	1,460,000円	200,000円	－円	
情報学部	情報工学科	1,370,000円	200,000円	－円	
	情報ネットワーク・コミュニケーション学科	1,370,000円	200,000円	－円	
	情報メディア学科	1,370,000円	200,000円	－円	
創造工学部	自動車システム開発工学科	1,370,000円	200,000円	－円	
	ロボット・マイクロエレクトロニクス学科	1,370,000円	200,000円	－円	
	ホームエレクトロニクス開発学科	1,370,000円	200,000円	－円	
応用バイオ科学部	応用バイオ科学科	1,370,000円	200,000円	14,000円	その他(フレッシューズキャンプ 14,000円)
	栄養生命科学科	1,470,000円	200,000円	14,000円	その他(フレッシューズキャンプ 14,000円)
看護学部	看護学科	1,660,000円	200,000円	－円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) クラス担任制を採り、クラス担任は欠席の多い学生の状況把握を行い、早期に問題解消に向けた助言を行っている。「IR・企画推進室」において学生に関わる全ての情報を集約・分析をおこない、その結果をクラス担任や関係部署へ情報提供し修学支援に活用している。また、多様な学習履歴を持つ学生の学習支援を行うため、基礎教育支援センターを開設し補完教育も行っている。加えて、学生によるピアサポート組織「KAITpia」（カイトピア）を設置し、授業のサポート、自主講座などを学生が主体となって活動し学び合いによる支援を行っている。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) 3年次から就活セミナーを前・後期それぞれ10回開講。前期は就職活動のプロセス（自己理解、仕事理解、啓発的経験への導入）についてのガイダンス、後期はES対策、面接対策、マナーなど、応募に関する実践的セミナーとしている。また、合同企業説明会等、年間1,000社を超える企業による学内説明会を実施。さらに、企業人事担当者の協力による面接対策合宿、キャリアアドバイザーによる個別相談対応の他、全学科に就職事務室を配置し、きめ細かい学生対応を行っている。2018年度にはインターンシップ推進室を新設し、就労体験型インターンシップの企業開拓ならびに学生サポートを強化している。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) 学生の心身の健康支援は学生が相談し易いように学生用相談窓口は複数設け、学生相談室、健康管理室、学生サポート室、クラス担任、学生課が窓口となり学生相談の対応を行っている。また、健康診断時に心の変調を早期に把握するためのチェックテストを実施し、リスクの高い学生には学生相談室来室を勧奨している。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：ホームページ（情報公表） <a href="http://joho.kait.jp/">http://joho.kait.jp/</a>
--